

令和3年岐阜県知事選挙 立候補者アンケート

新田 雄司 氏 アンケートのご回答

1) 格差による影響への取り組みについて

昨今、あらゆる局面で、「格差」により、生活困窮や教育機会の減少など、社会的弱者と言われる弱い立場の人たちへの影響が懸念されています。コロナ禍においてその影響は更に顕在化しています。その中で、弱い立場の方々への支援に際し、NPOや市民団体と共に取り組まれますか？

はい . いいえ . その他

詳細(300字以内)

生活困窮されている方の命をつなぐ取り組み、アルバイトが減り学費、生活費が厳しい学生さん達へ食料をお届けするフードバンクの取り組みが重要と考えます。企業・農家・NPO や市民団体と連携し、この取り組みを広げていきたいと考えています。「子ども食堂」など「子供の居場所づくり」の支援も行いたいです。

2) 子どもへの虐待を減らすための取り組みについて

子どもへの虐待の増加について、現状や社会的背景・原因など様々な議論があります。岐阜県が発表した「令和元年度岐阜県における児童虐待相談の状況について」によると相談対応件数が過去最多となりました。子どもへの虐待を減らすための政策に力を入れて取り組みますか？

はい . いいえ . その他

詳細(300字以内)

地域社会が見守るという意味において、NPO 団体との連携は重要であると考えております。岐阜県の子ども相談センターを中心に警察、市町村とも情報交換を密にしていく必要があります。また、多胎児、未熟児、障がいのあるお子さん、第一子のお子さんといった、子育てに不安を抱えられた方への育児サポートを充実してまいります。学校や医療機関への啓発にも力を入れていきたいです。

3) 多様なセクターとの協働による災害支援について

毎年、繰り返される大規模災害で被災された方々への支援は、善意のボランティアの皆さんの協力なしには対応出来ない現状があります。企業や地域住民、NPO、市民団体との連携も重要です。

しかし、コロナ禍によっては、全国からの人的支援が受けづらい場合があり、日常のつながりが重要視されています。今後、起こるであろう災害時の支援において、多様なセクターとの協働により災害支援に取り組まれますか？

はい ・ いいえ ・ その他

詳細 (300字以内)

災害時には、ライフラインの停止が想定されていることや、トイレ、災害廃棄物の片づけをする必要があり、地元関係業界やボランティアとの協働が重要と考えております。こうした中で、NPO、市民団体が果たす役割は大きいと考えている。

4) SDGsの推進に向けたNPOや市民団体との連携について

岐阜県はSDGs未来都市の選定を受け、2030年のあるべき姿を示され、SDGsを原動力とした持続可能な「清流の国ぎふ」の実現に向け、取組みを進められています。また、SDGsの達成に向けてNPOや市民団体も積極的に取り組んでいます。SDGsの達成に向けて、NPOや市民団体と連携して取り組まれますか？

はい ・ いいえ ・ その他

詳細 (300字以内)

SDGsの17の目標を、県の予算編成や政策にあてはめて見える化し、県民・地域住民に身近なものとしていくよう取組みます。また、足らざるものを補い、目標達成に向けてNPOや市民団体と連携して取り組めます。私は、持続可能な林業による森林管理、河川清流に流れ込むプラスチックの減少から海洋環境の改善に貢献することも打ち出しております。

5) 行政とNPOとの協働について

岐阜県では、NPOと行政が協働のパートナーとして県民福祉の向上が図れるよう2002年に「NPOと行政の協働を進めるための協働事業推進ガイドライン」を策定し、NPOとの協働を進められてきました。それ以降、協働による事業が実施される機会が増え、福祉、環境、防災など県民に直結する事業において、NPOと行政の協働が当たり前のように行われてきました。今後、更に県民福祉の向上、誰一人取り残さない幸福な社会を目指すためにNPOと行政との協働に取り組まれますか？

はい ・ いいえ ・ その他

詳細 (300字以内)

今後も福祉の現場、環境対策、災害の現場において、真に支援を必要とする方への現場目線の福祉向上のため、NPOと行政の協働が必要と考えます。

ご協力ありがとうございました。